

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2018. 10. 25 No. 3

一中生が保育実習

10月15日、一中の3年生が梅檀保育園を訪れ、技術・家庭科の「家庭分野」学習の一環として、「保育実習」を行いました。3歳児を相手に、初めは遠慮がちだった中学生たちですが、慣れるにつれて笑顔が見られるようになり、いろいろなことを学んだようでした。平素、勉強に部活にと忙しい中学生たちですが、青空の下、心豊かに過ごす時間になったことでしょう。



つかず離れず見守る！



ハンドルを回せばいいよ



できることには手を貸さない



なかなか手ごわいぞ！



相手の気持ちを考えて



「そうか…」まず共感から



つめの間もきれいにね！



お礼に歌を聞いてください



.....



ハリハリのダンスに中3笑顔



「ありがとう」「また来てね」



こうやって進めばいいね！

より多くの連携を

一中校区の小・中学校は、上級生と下級生が同じ目標に向かう活動に力を入れています。幼稚園・保育園とも協働し、学校で育てた力を地域で発揮する場を用意することで、地域を愛する気持ちや高い人権意識、創造性や行動力がより一層育ちます。

こんなに変わった！中学の技術・家庭

1958（昭和33）年に年間315時間だった学習時間数が、1998（平成元）年から87.5時間に激減。一方、この年から完全男女共修に。世相が映し出されています。

上道小「放課後学習会」（10/9）

家庭学習の習慣作りを目的に発足。先生のほか地域の方7名が交代で見守ってくださいます。



境小「1年生活科・昔の遊び」（10/9）

「かもめ会」の方々に、お手玉やけん玉など懐かしい遊びを習いました。公民館長さんも大活躍でした。

